

日液協第27～62号
平成27年 9月 3日

会 員 各 位

日本液化石油ガス協議会
事 務 局

平成27年度七協議会保安技術委員会を終えての対応について
(お願い)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は弊協議会のためのご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、標記の件、今年度は当協議会が事務局となり進めておりましたが、7月17日開催予定の七協議会保安技術委員会が台風の為、延期となり、8月24日に開催いたしました。

その際、委員会で「今後の七協議会での取組み並びに行動目標」について、ガス安全室大本室長、波岡室長補佐及び七協議会関係者と協議の上、下記の通りとなりましたのでご報告申し上げます。

敬 具

記

1. 平成27年度販売事業者保安対策指針において、「2020年時点の目標として死亡者ゼロ、負傷者25人未満を目指すこととする」ことを受けて、平成22年度以降のB級事故18件を分析すると、その内CO事故が12件と66%を占めていて、その12件全てがCO警報器、業務用換気警報器が未設置でありました。
2. 上記の実態を踏まえ、現在実施している実態調査の項目の内、以下の項目を3年計画で達成する。
 - ①業務用施設に対し、業務用換気警報器・CO警報器を100%設置する。
 - ②調整器の期限切れをゼロとする。

3. CO事故対策として、消費者向けの注意喚起シールの導入を検討する。

4. 現在実施している各種実態調査は継続する。

但し、ガス栓カバーの調査についての様式は変更する。

以上について、10月に開催する七協議会連絡会議に提言する予定で進めますので、上記の内容について、ご理解、ご了解をお願い申し上げます。

以 上

(発信手段：Eメール)

(担当：飯田、岩田)